令和5年度　生活調べアンケート　第１回調査結果

実施目的

　児童生徒の心身の状態について、教員の日頃の見守りに加え、客観的な指標を持ち、多面的に捉えることで、学校生活への不適応の未然防止・早期発見をすべく「生活調べアンケート」を実施した。

対象

令和５年6月5日～6月26日（タブレットを使いGoogleフォームで回答）

実施期間

奈良市立学校　小学生（小1～小６）
　　中学生（中1～中３）

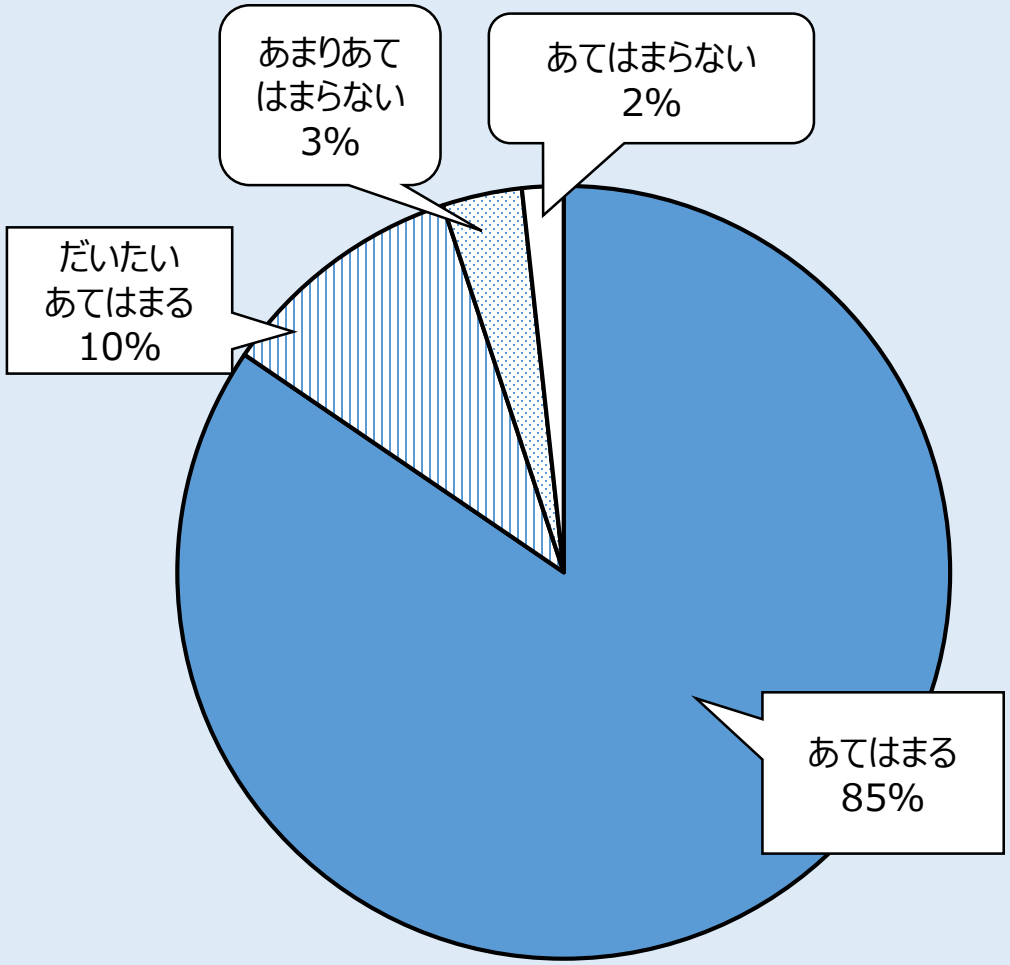
アンケート調査内容

大項目	小項目
①気持ちの安定度について	５項目
②生活の安定度について	４項目
③困ったときにSOSが出せるかについて	２項目
④マスク着用について	1項目

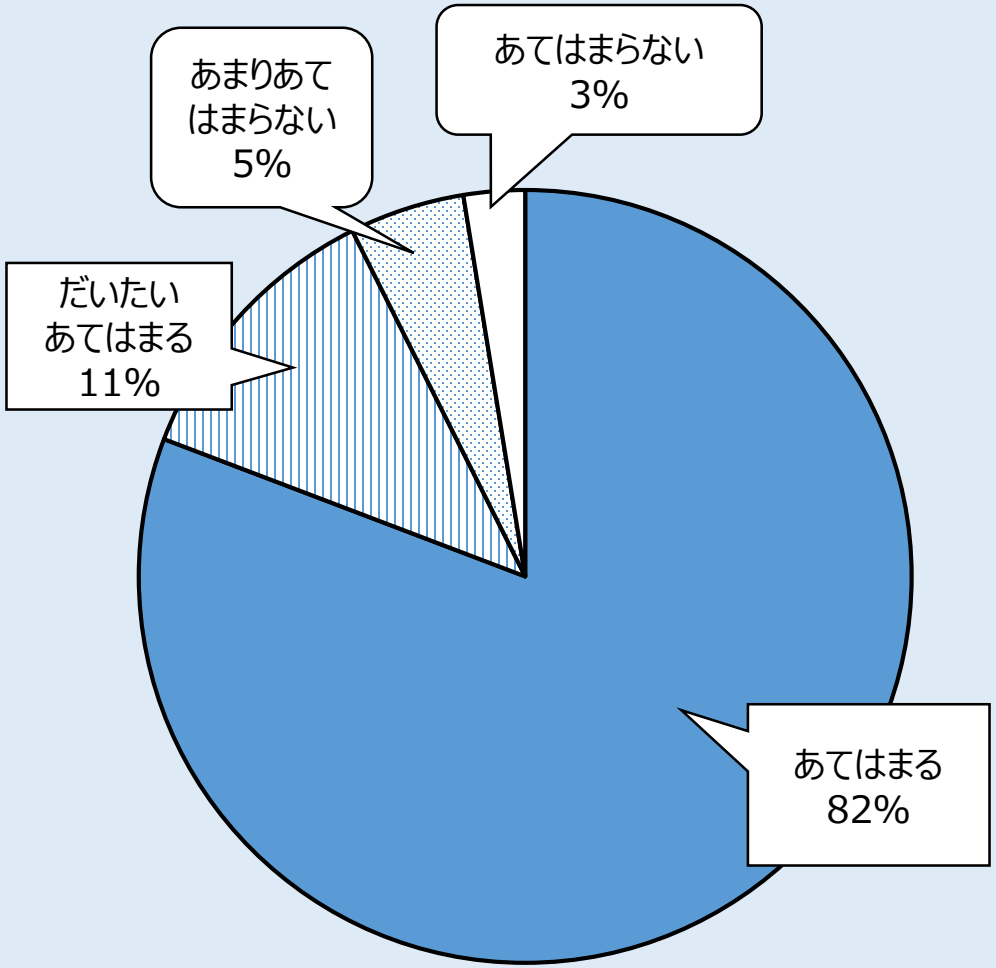
質問1	朝ごはんや昼ごはんを食べている
質問2	なかなか眠れないことがある
質問3	勉強に集中できないことがある
質問4	むしゃくしゃしたり、イライラしたり、かっとしたりする
質問5	何事もやる気がおきない
質問6	頭やお腹が痛いなど、体の調子が悪いことがある
質問7	体を動かすなど、よく運動している
質問8	毎日が楽しい
質問9	悩みごとを話せる人や場がある
質問10	困ったときに、学校の先生や家の人に頼ることができる
質問11	学校や家で何か不安を感じたことがある
質問12	常にマスクをしていないと不安である

質問1　朝ごはんや昼ご飯を食べている

小学生

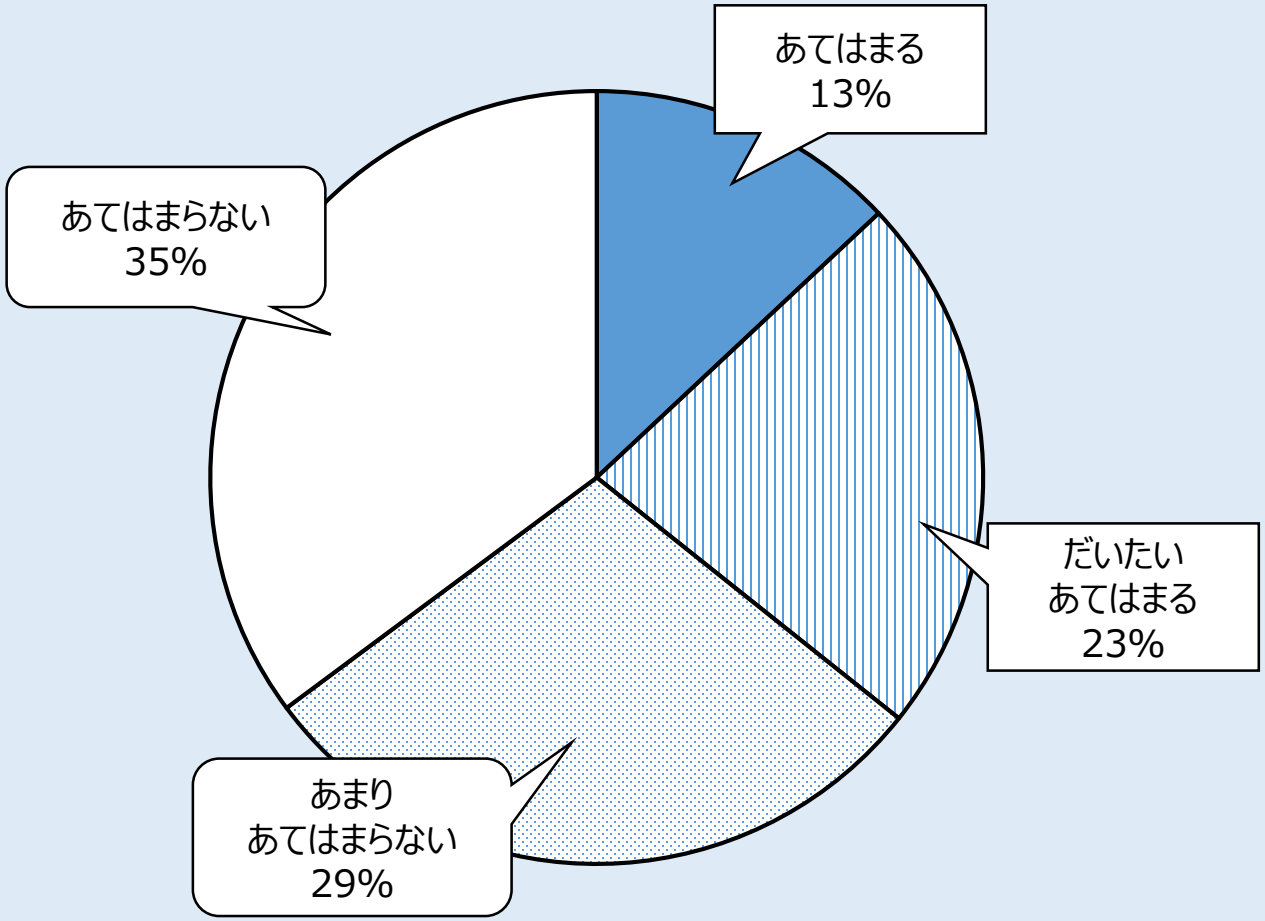


中学生

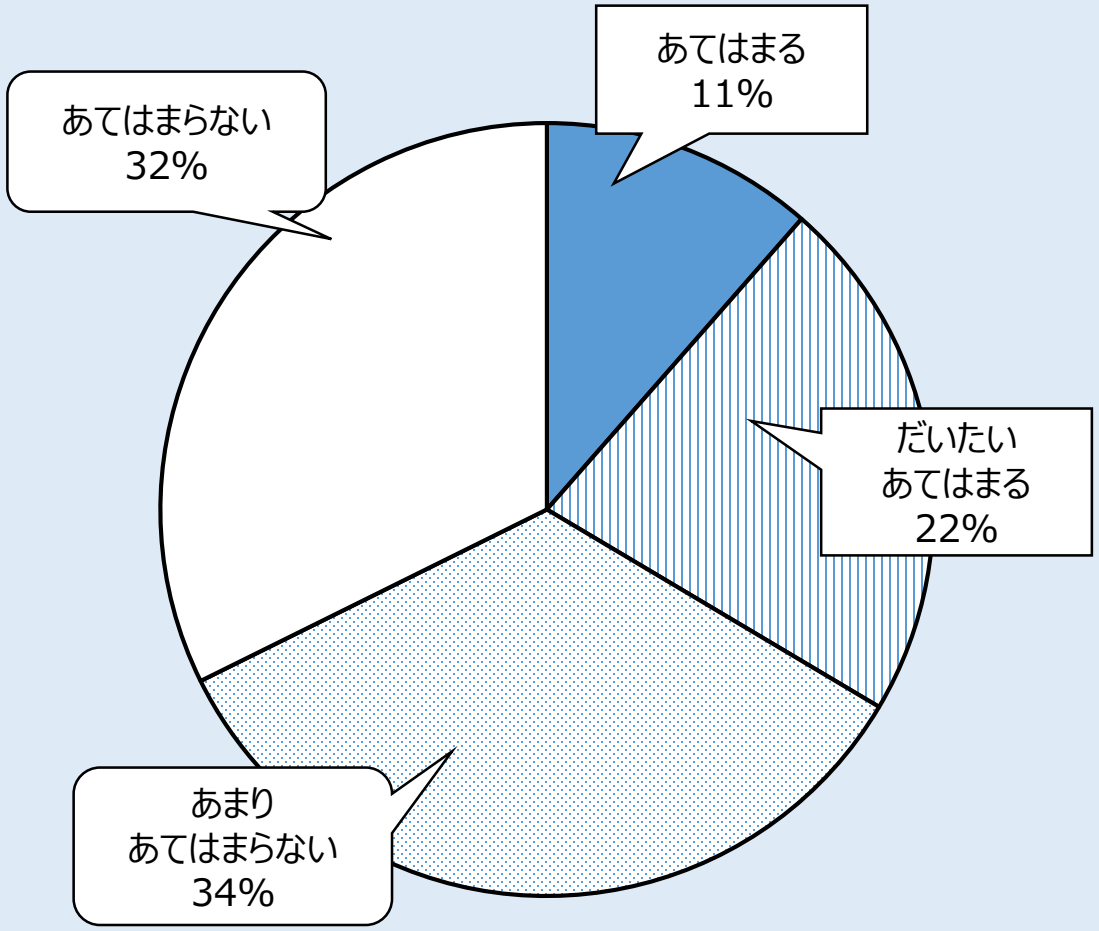


質問2　なかなか眠れないことがある

小学生

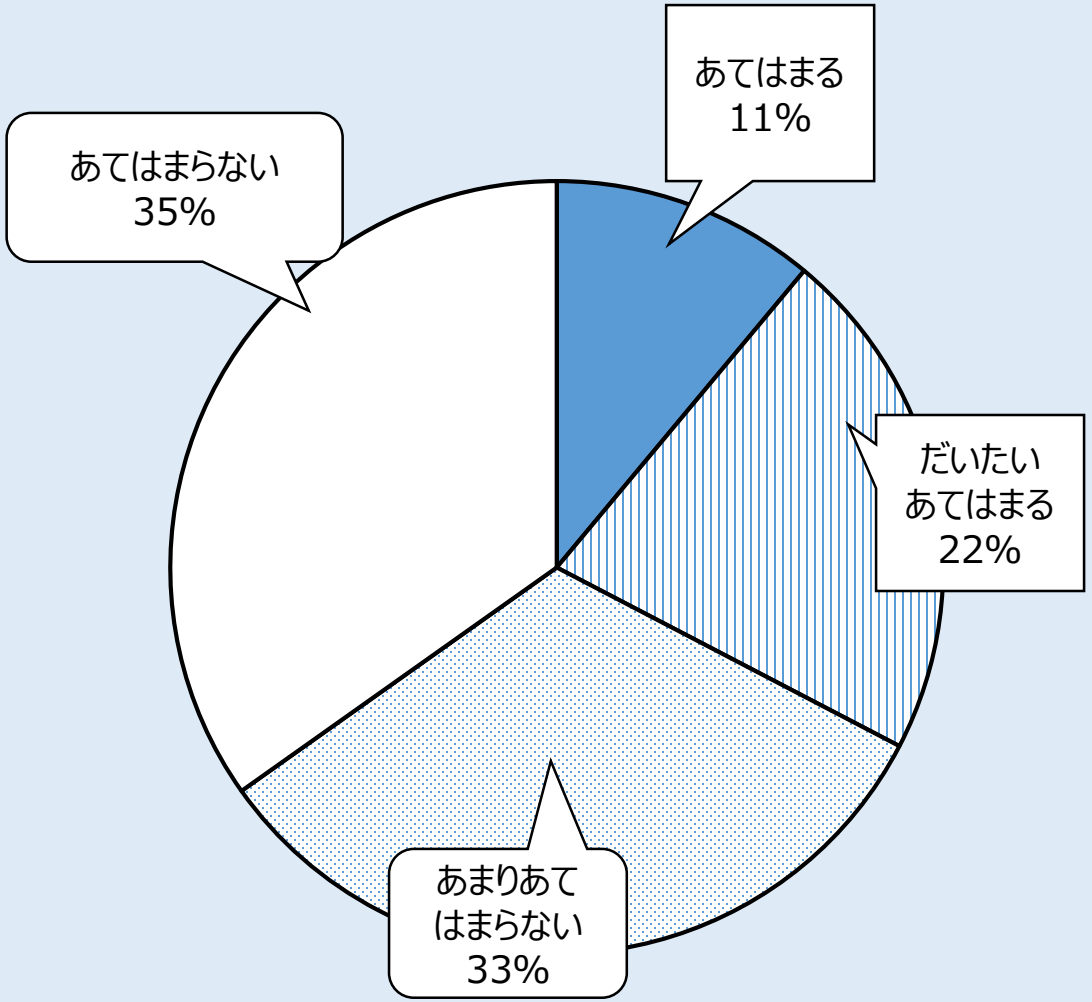


中学生

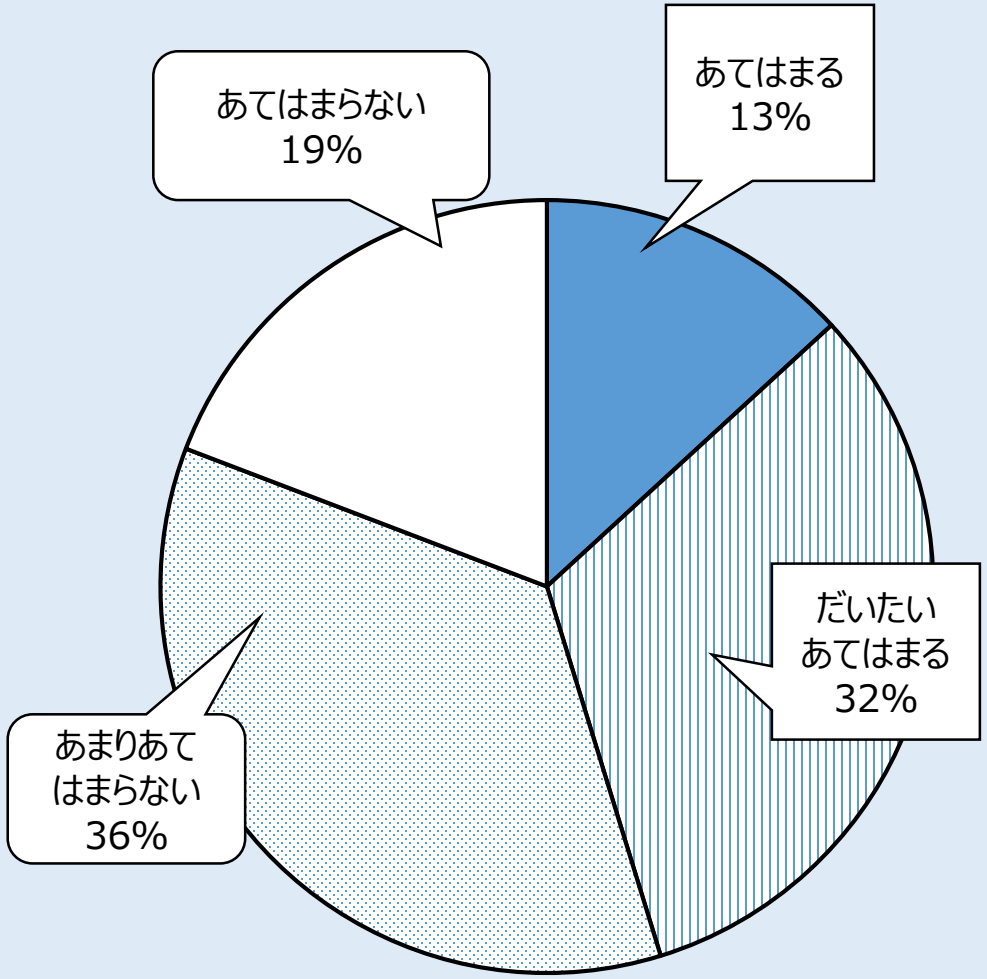


質問3　勉強に集中できない

小学生

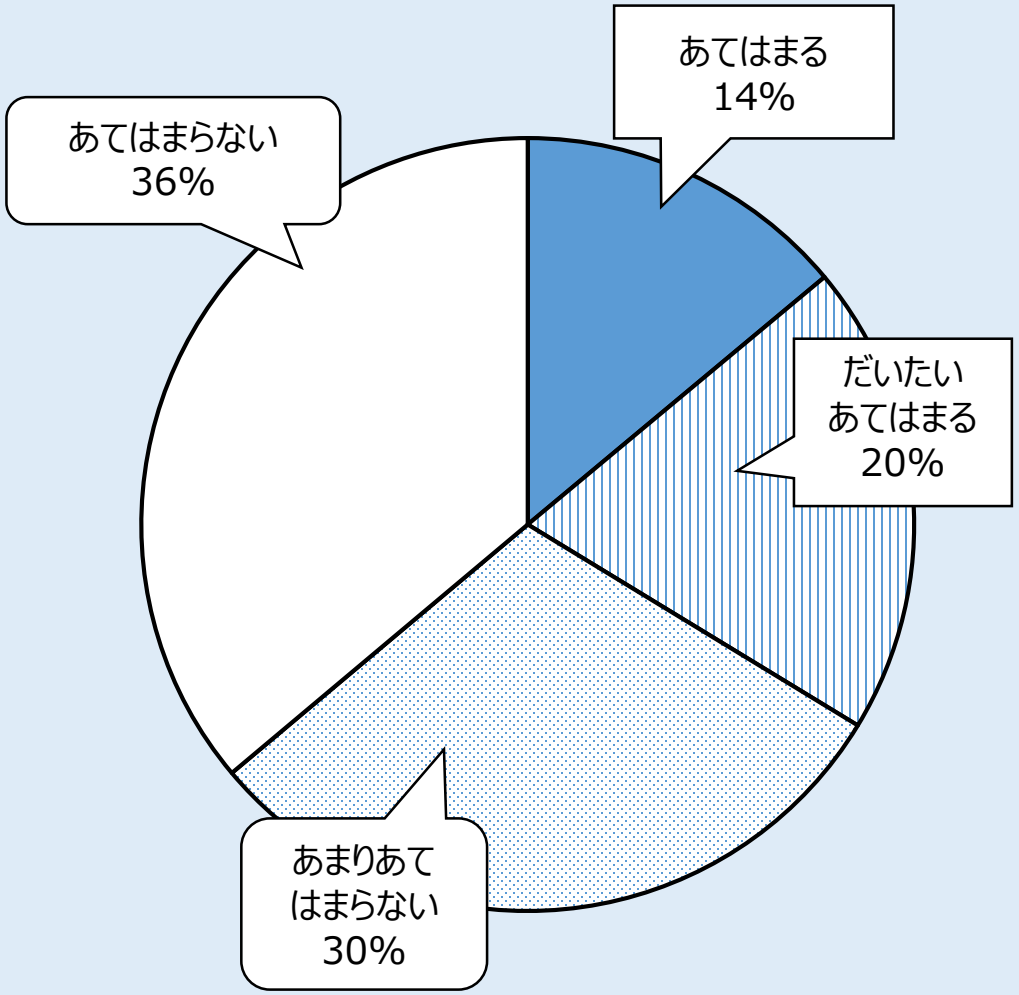


中学生

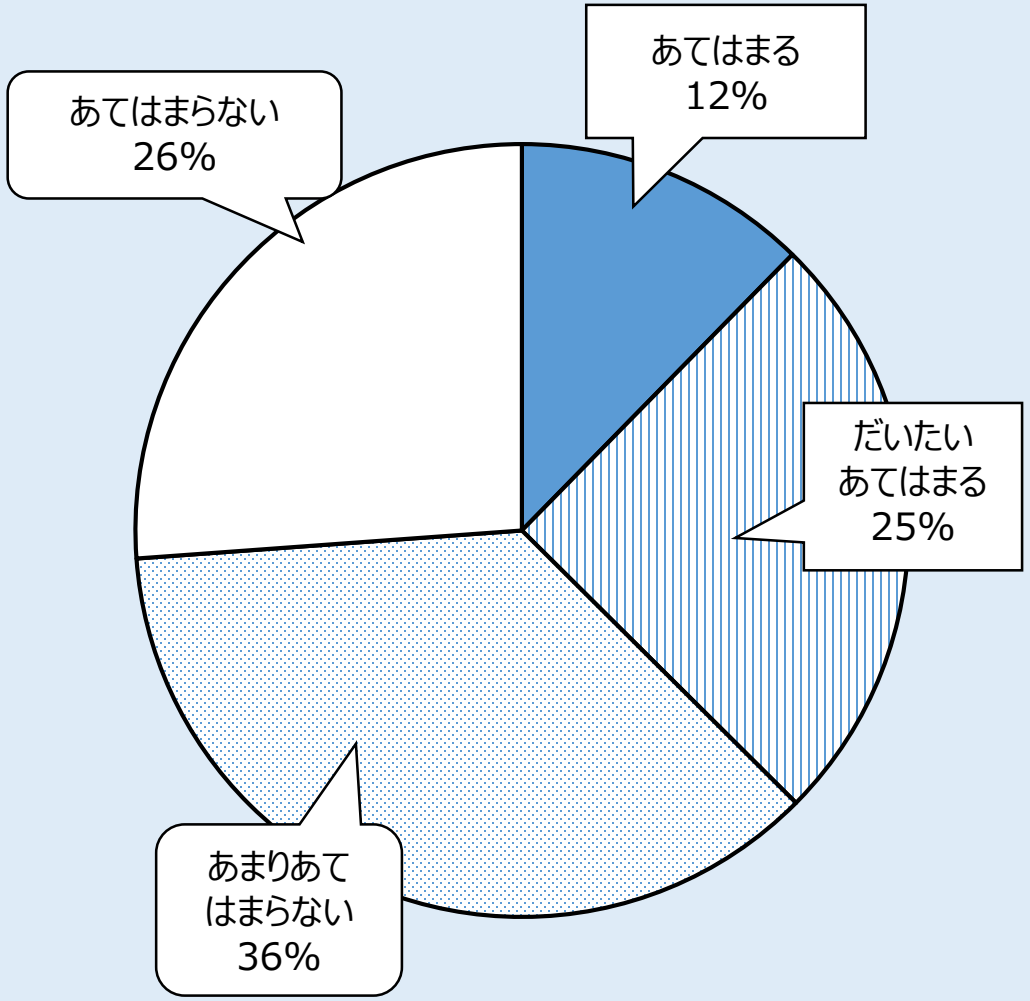


質問４　むしゃくしゃしたり、イライラしたり、カッとしたりする

小学生

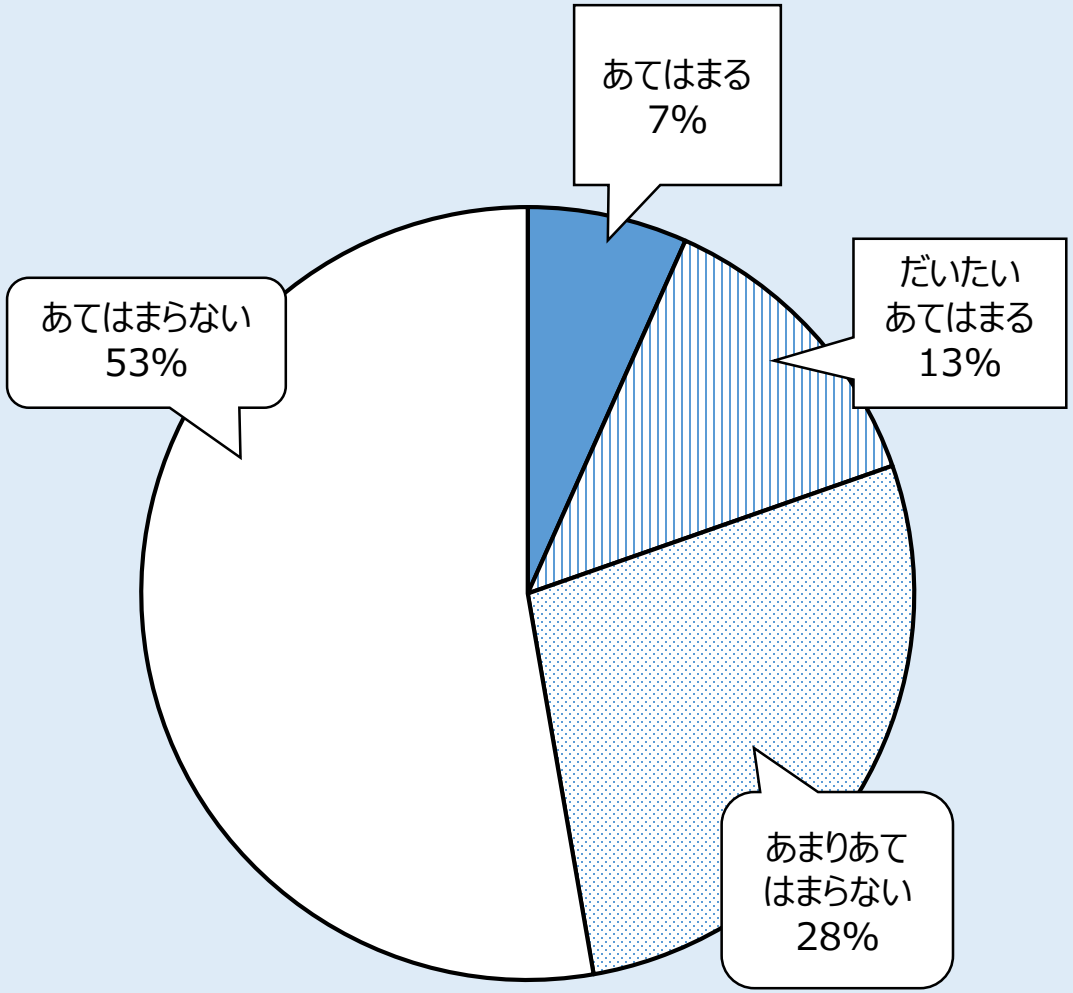


中学生

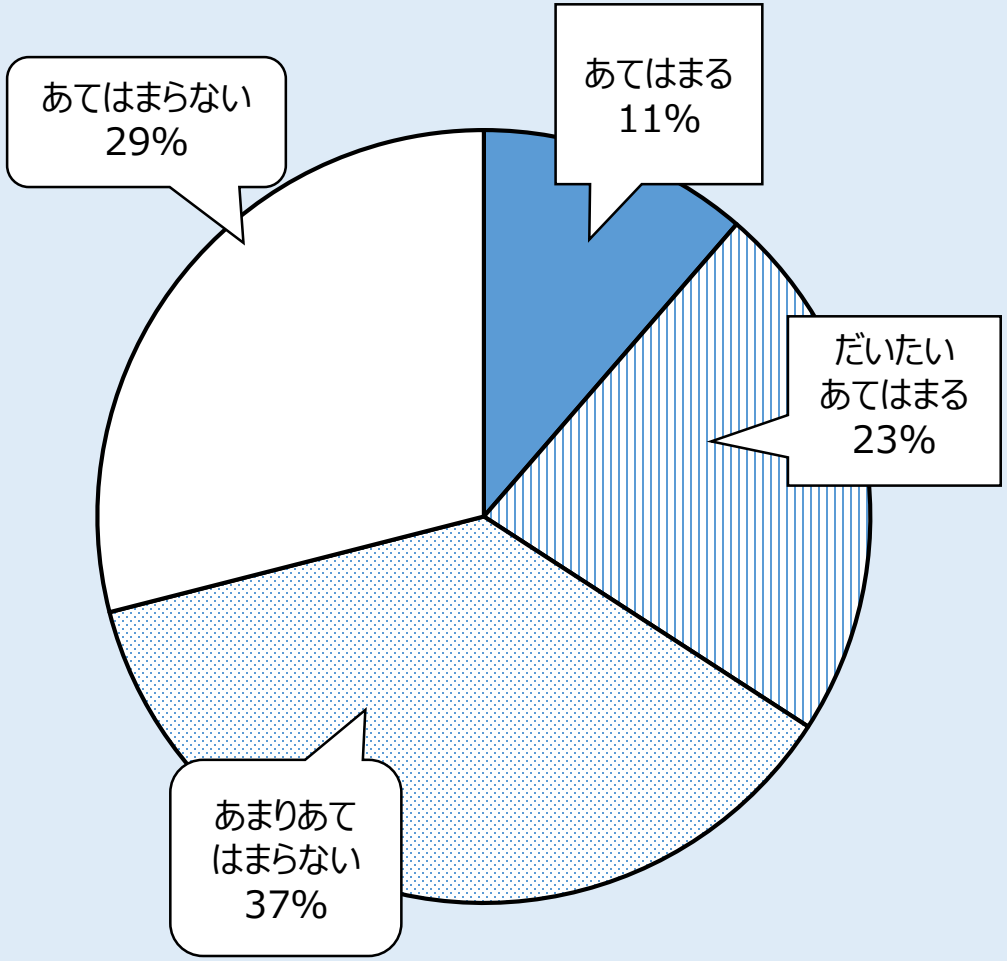


質問５　何事にもやる気がおきない

小学生

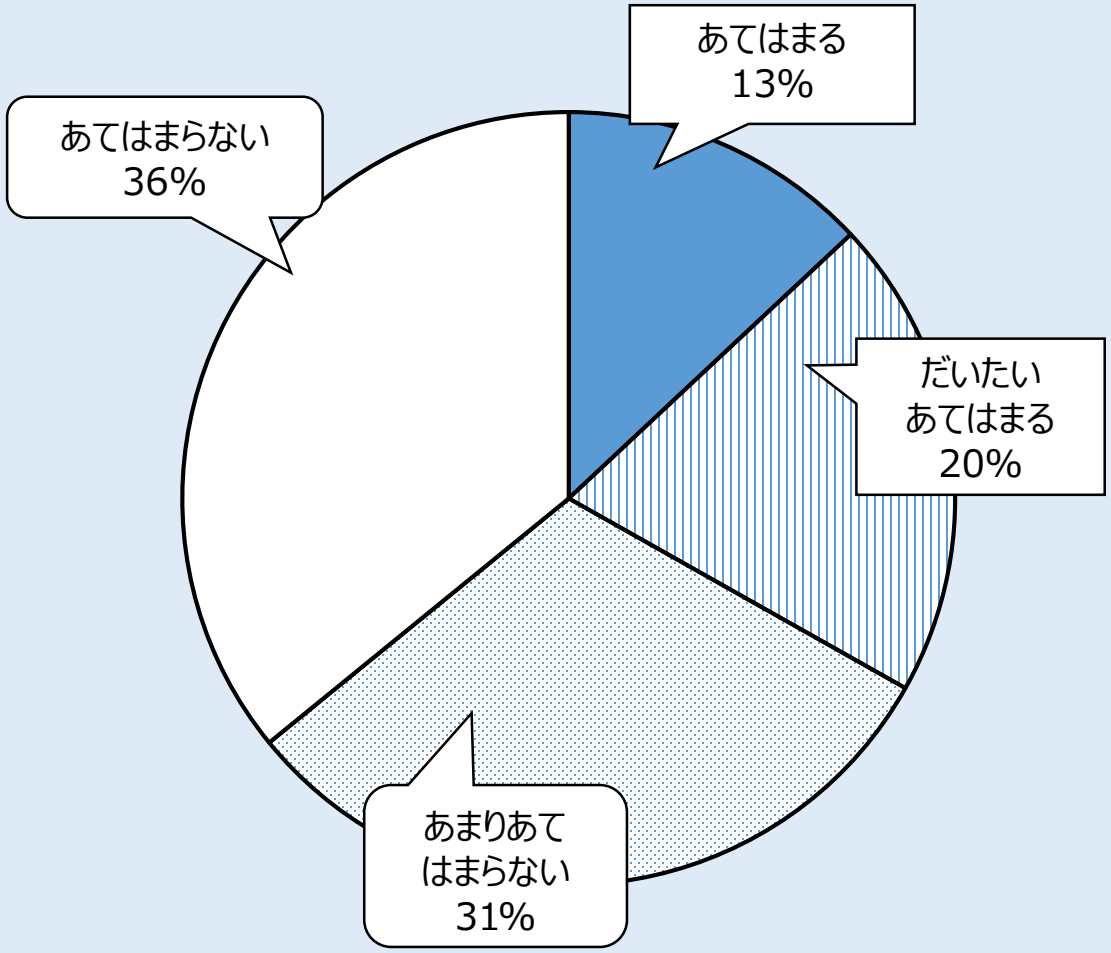


中学生

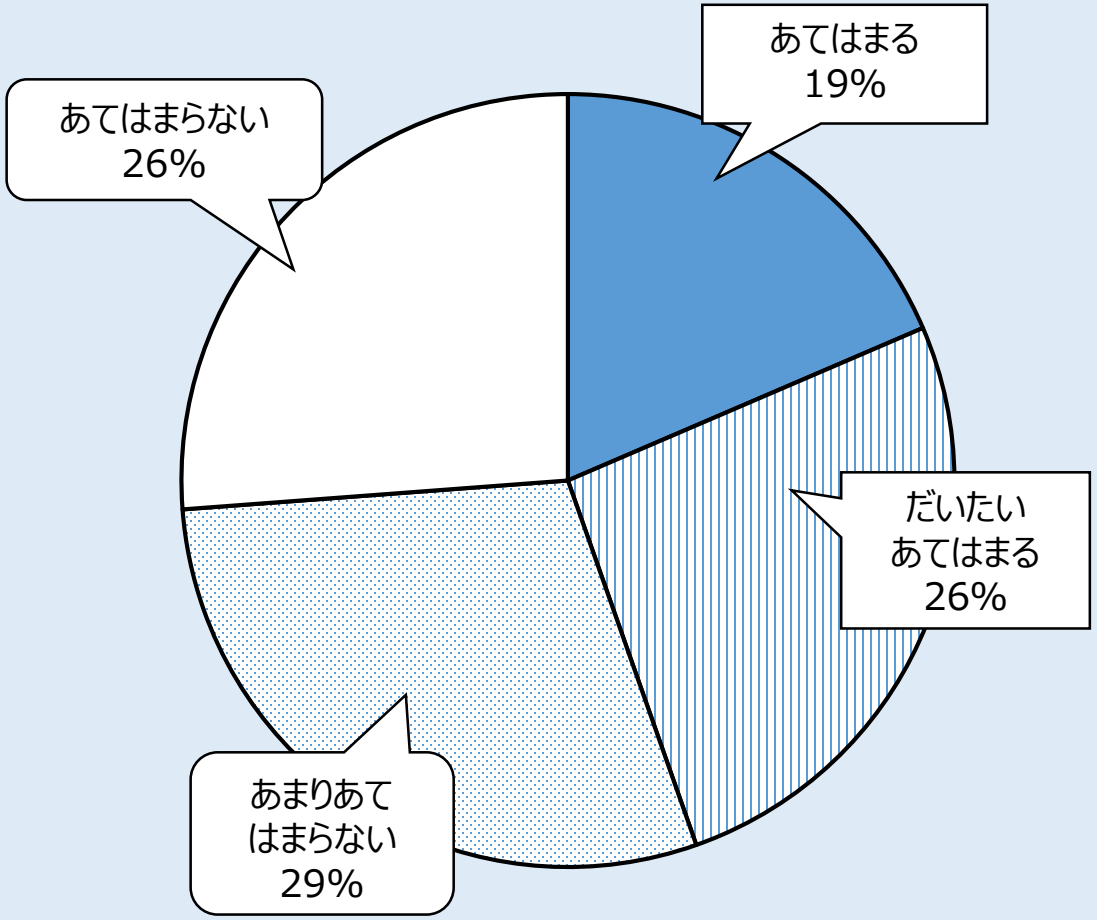


質問６　頭やお腹が痛いなど、体の調子が悪いことがある

小学生

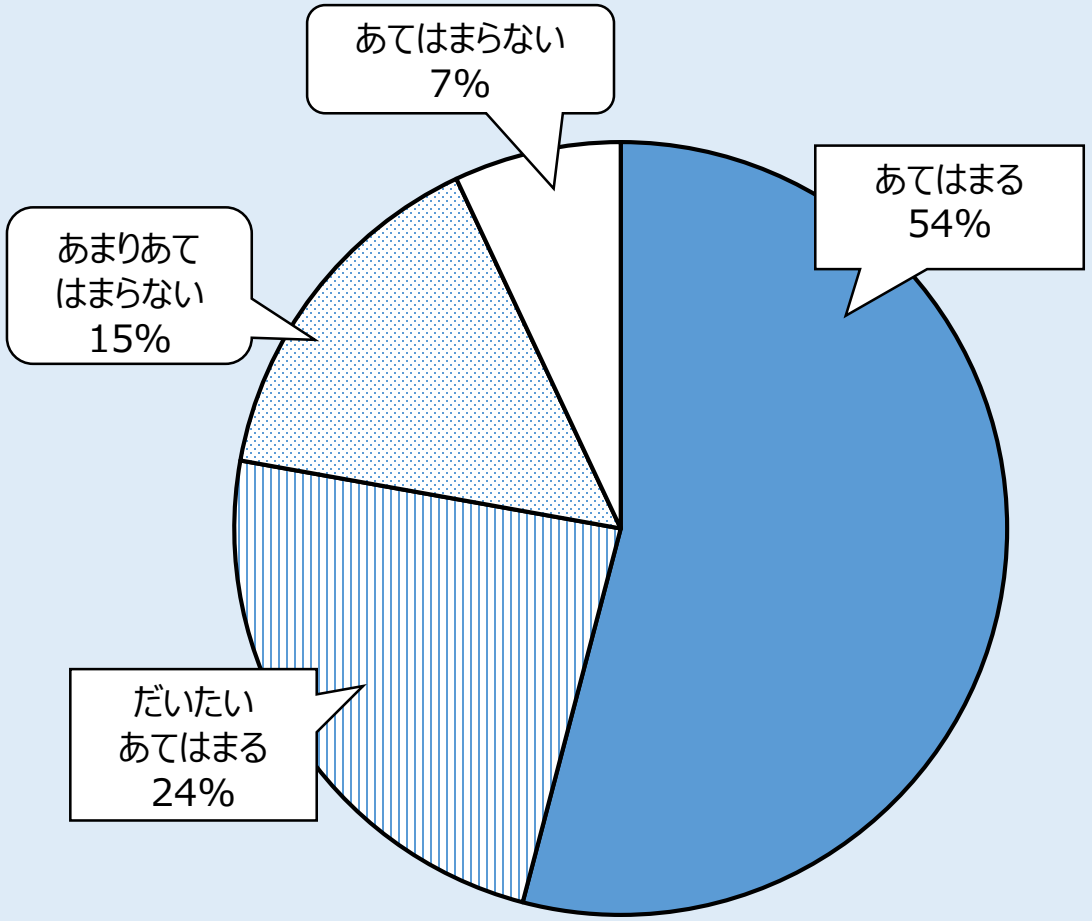


中学生

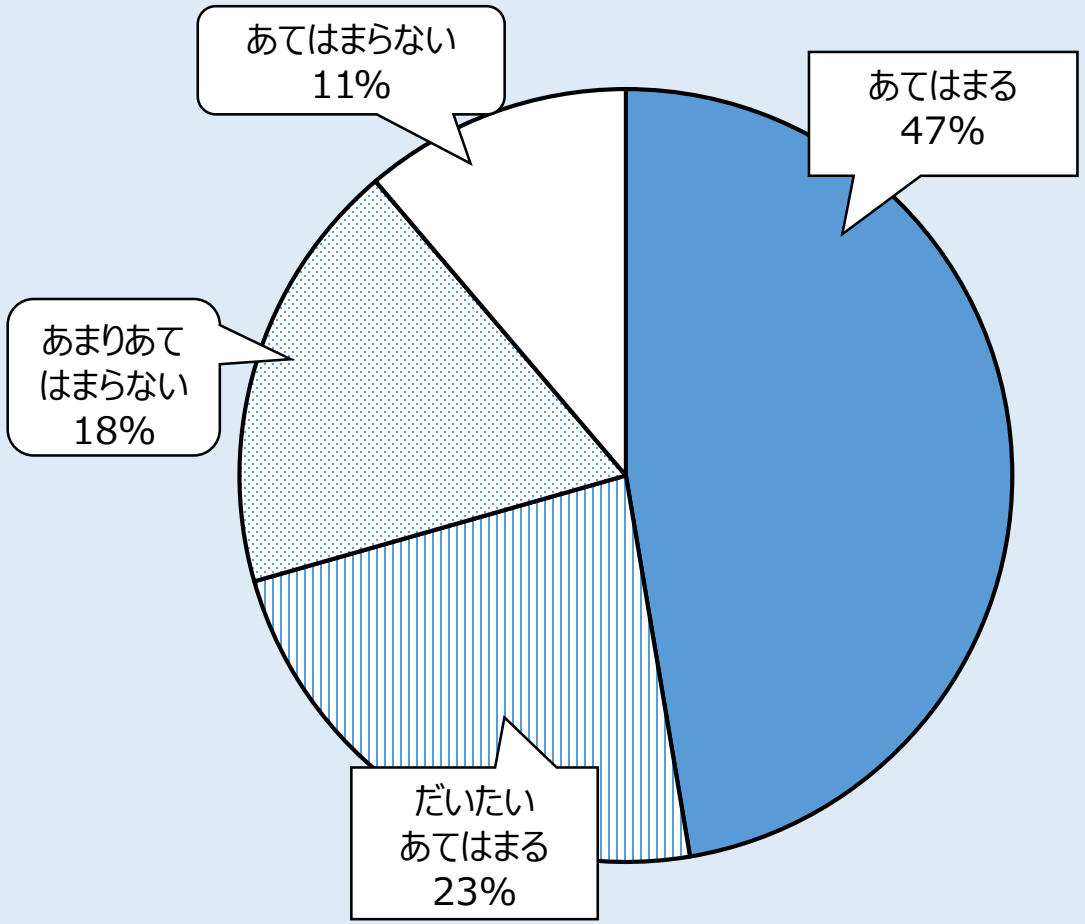


質問７　体を動かすなど、よく運動している

小学生

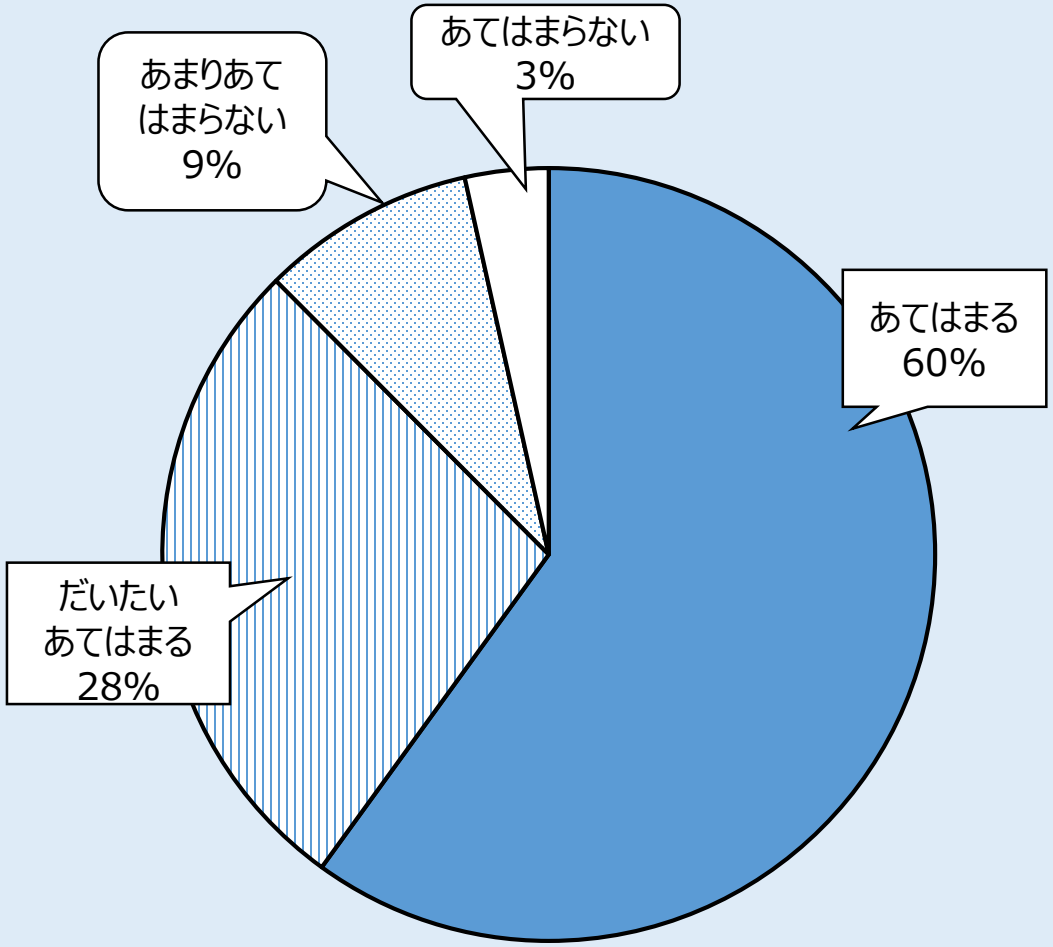


中学生

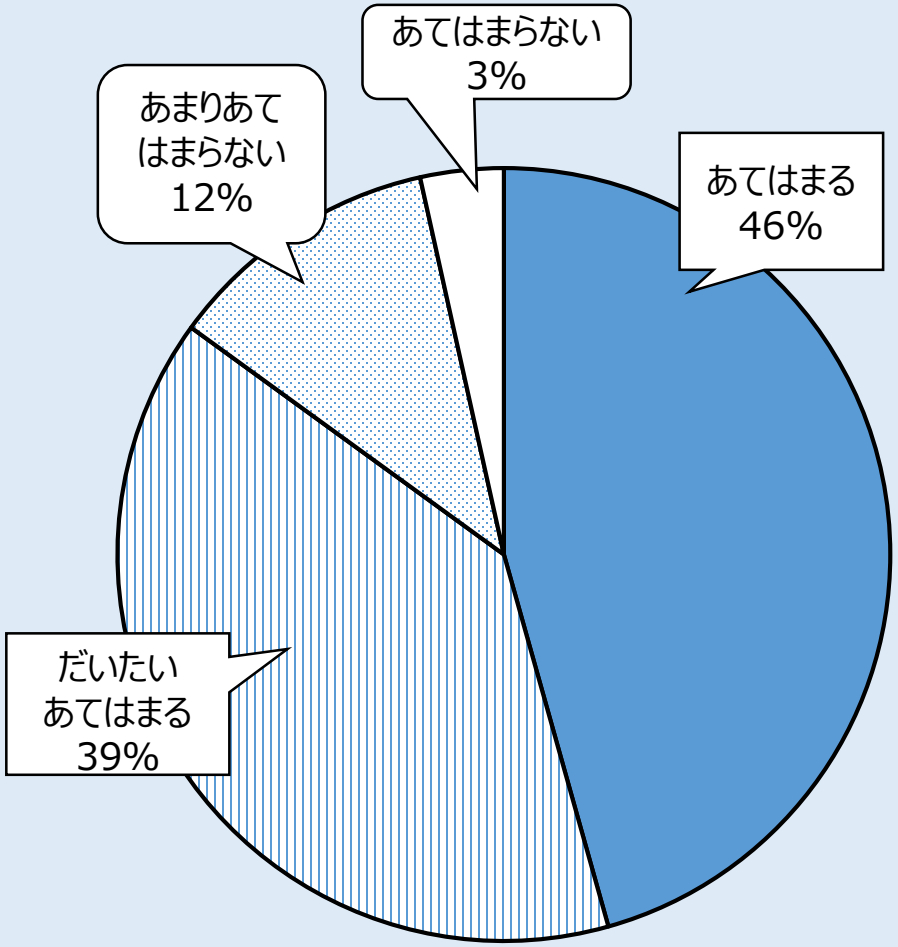


質問８　毎日が楽しい

小学生

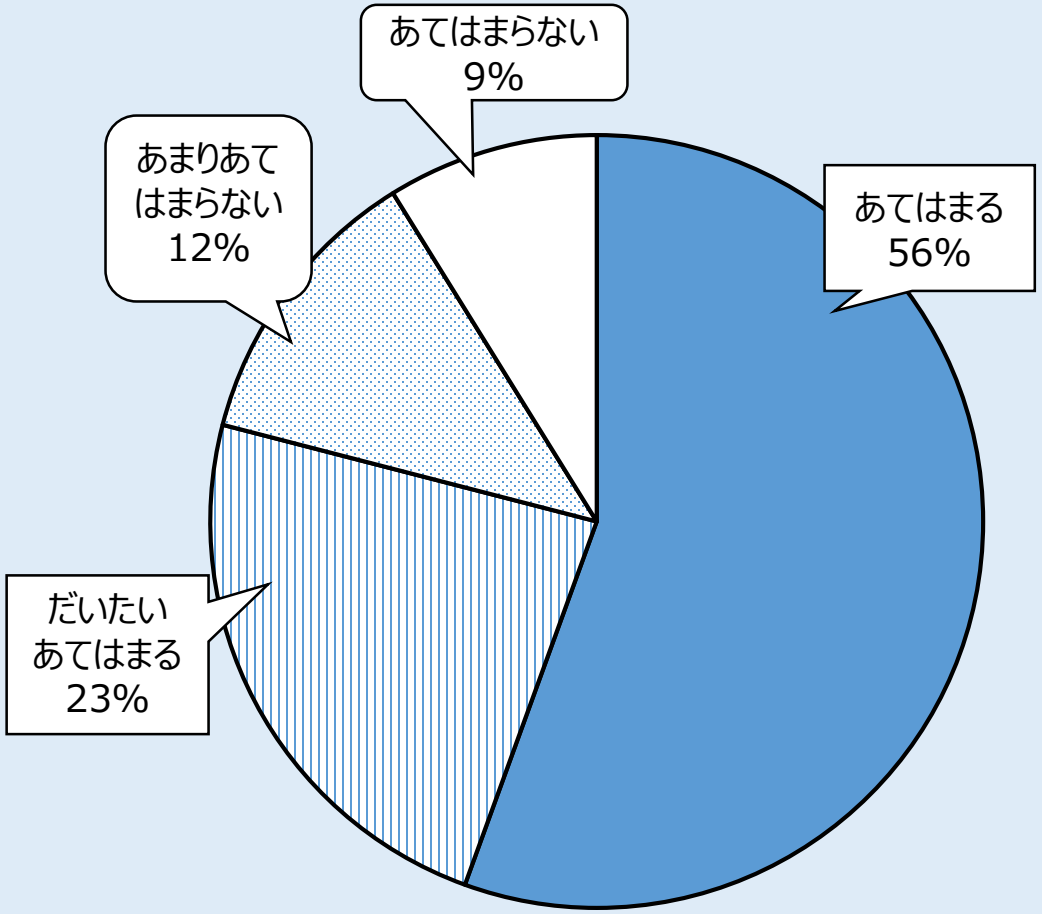


中学生

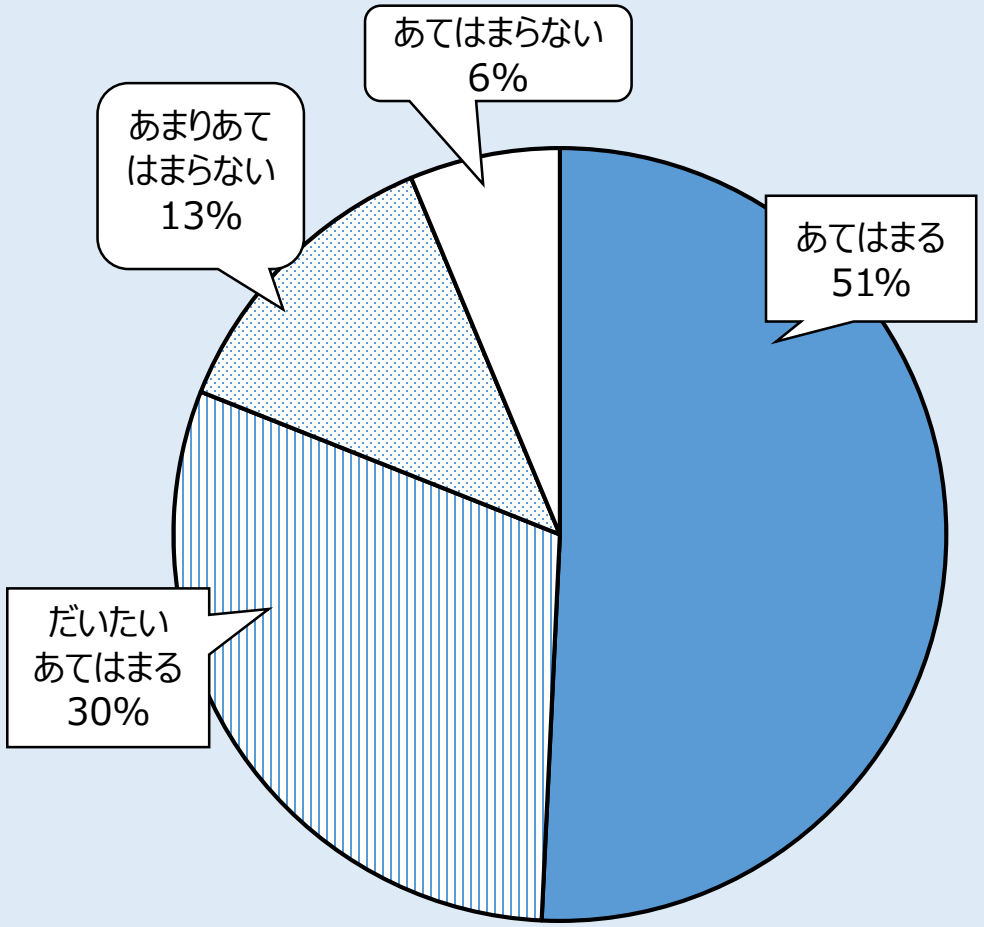


質問９　悩みごとを話せる人や場がある

小学生

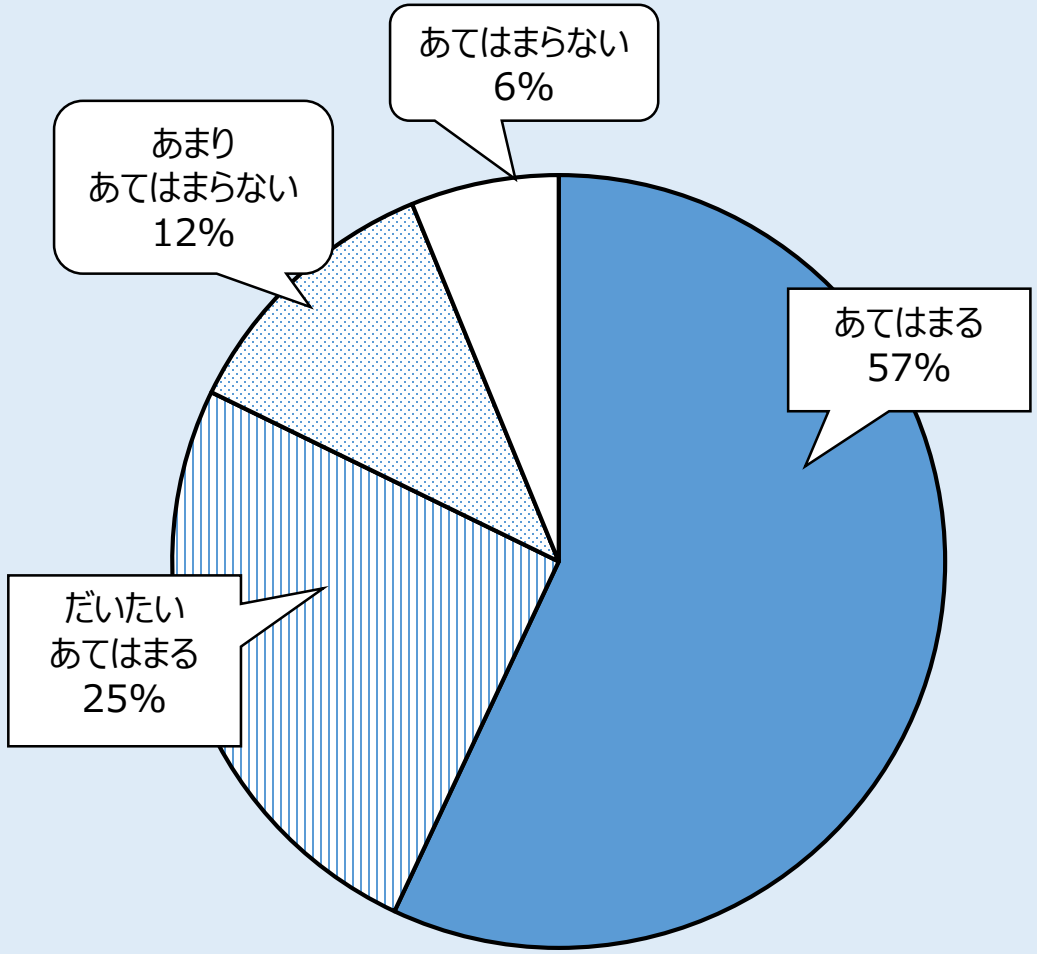


中学生

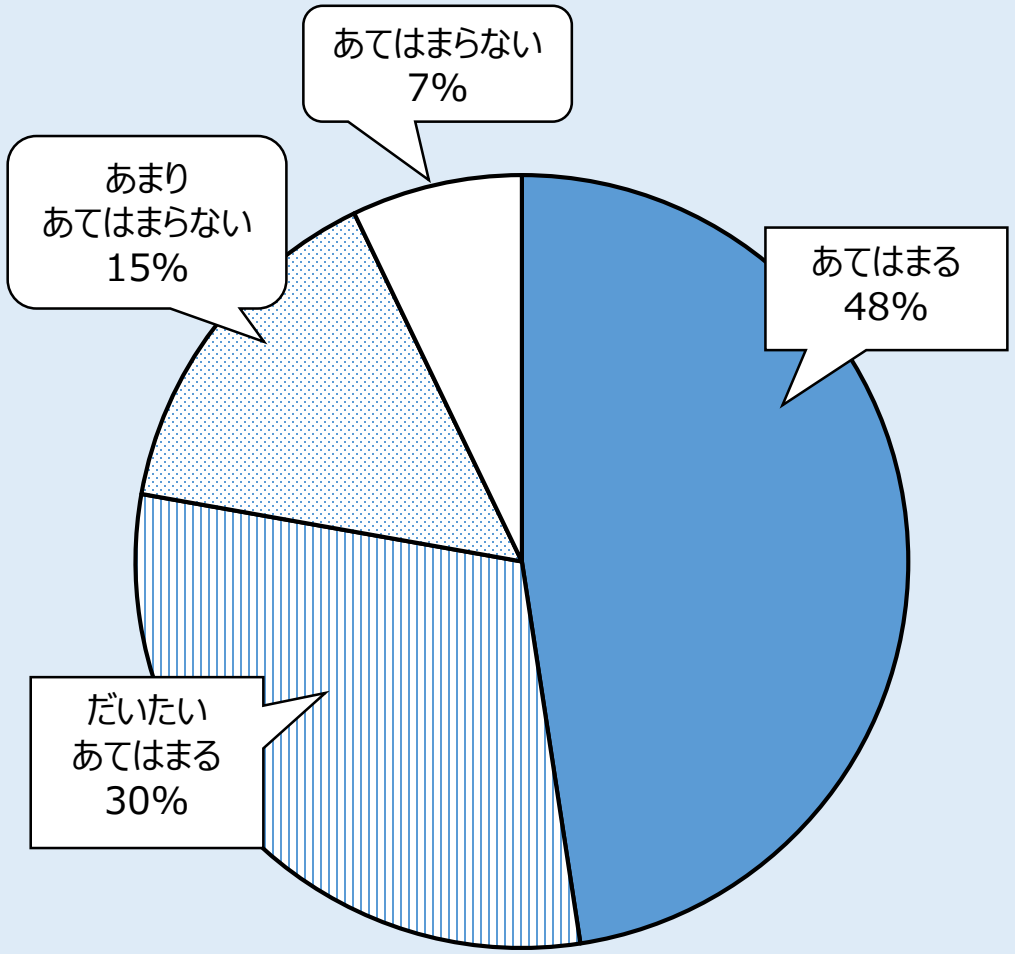


質問１０　困ったときに、学校の先生や家の人に頼ることができる

小学生

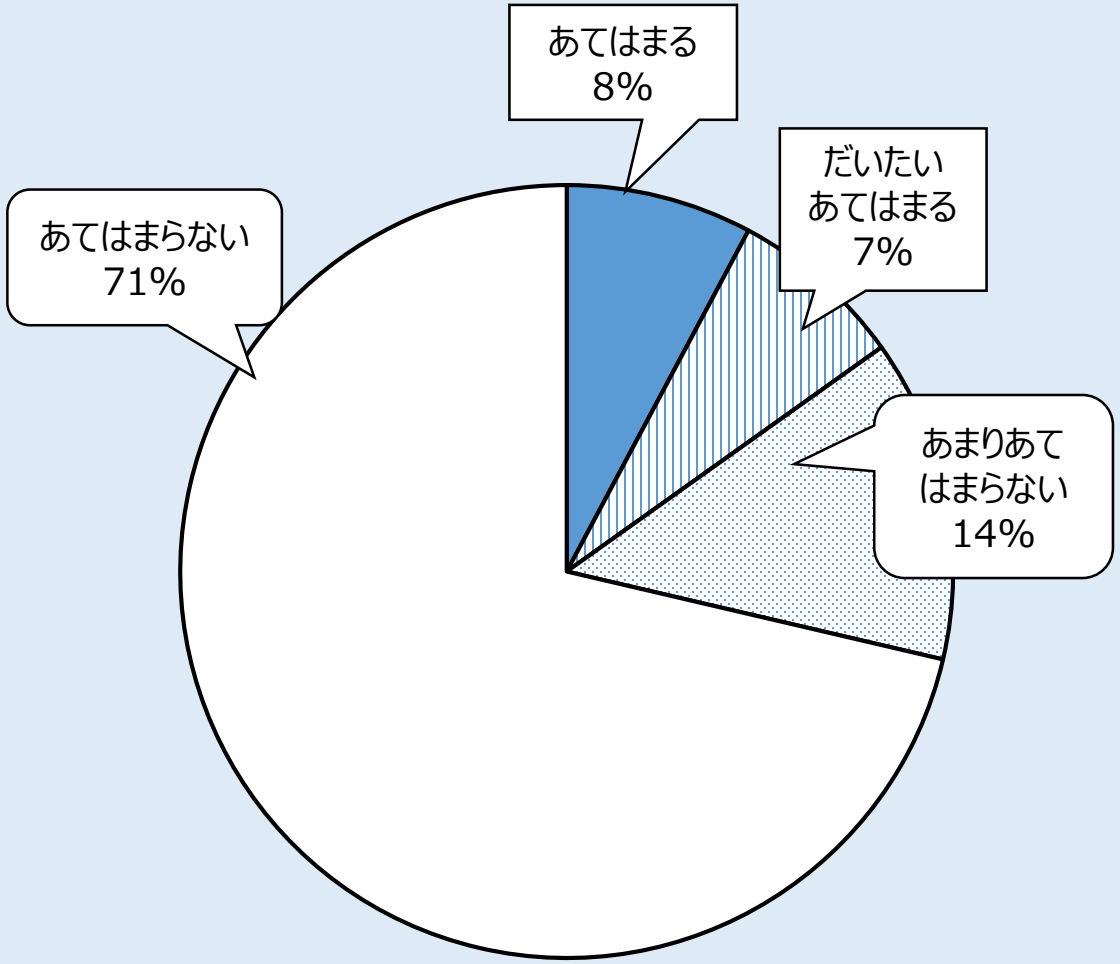


中学生

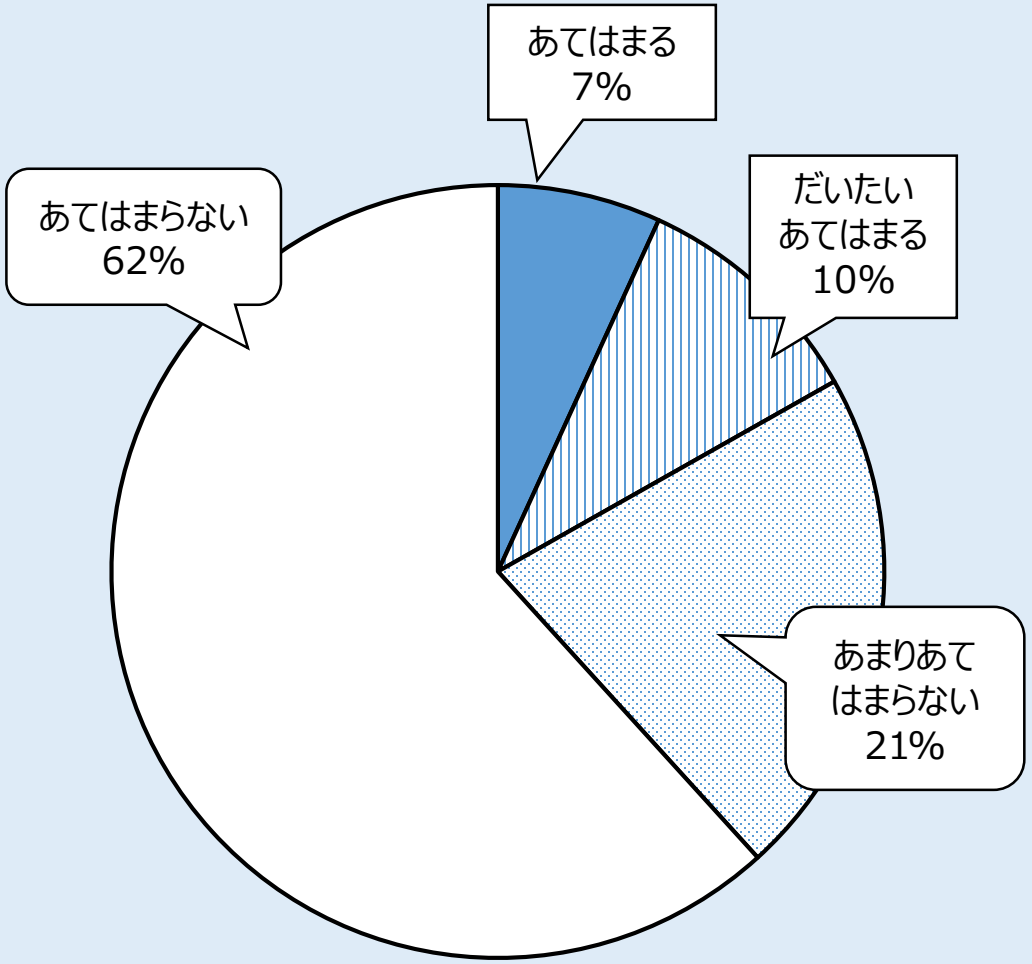


質問１１　学校や家で何か不安を感じたことがある

小学生

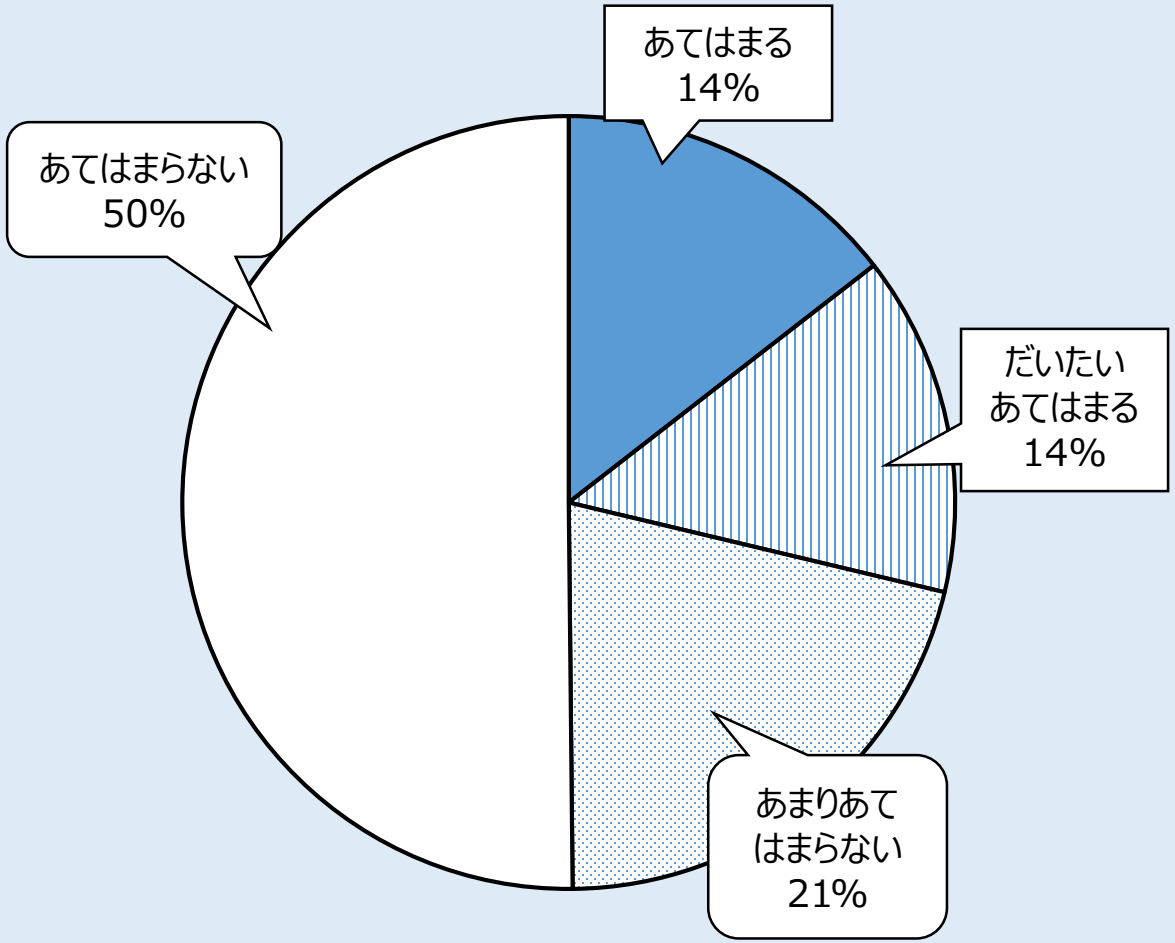


中学生

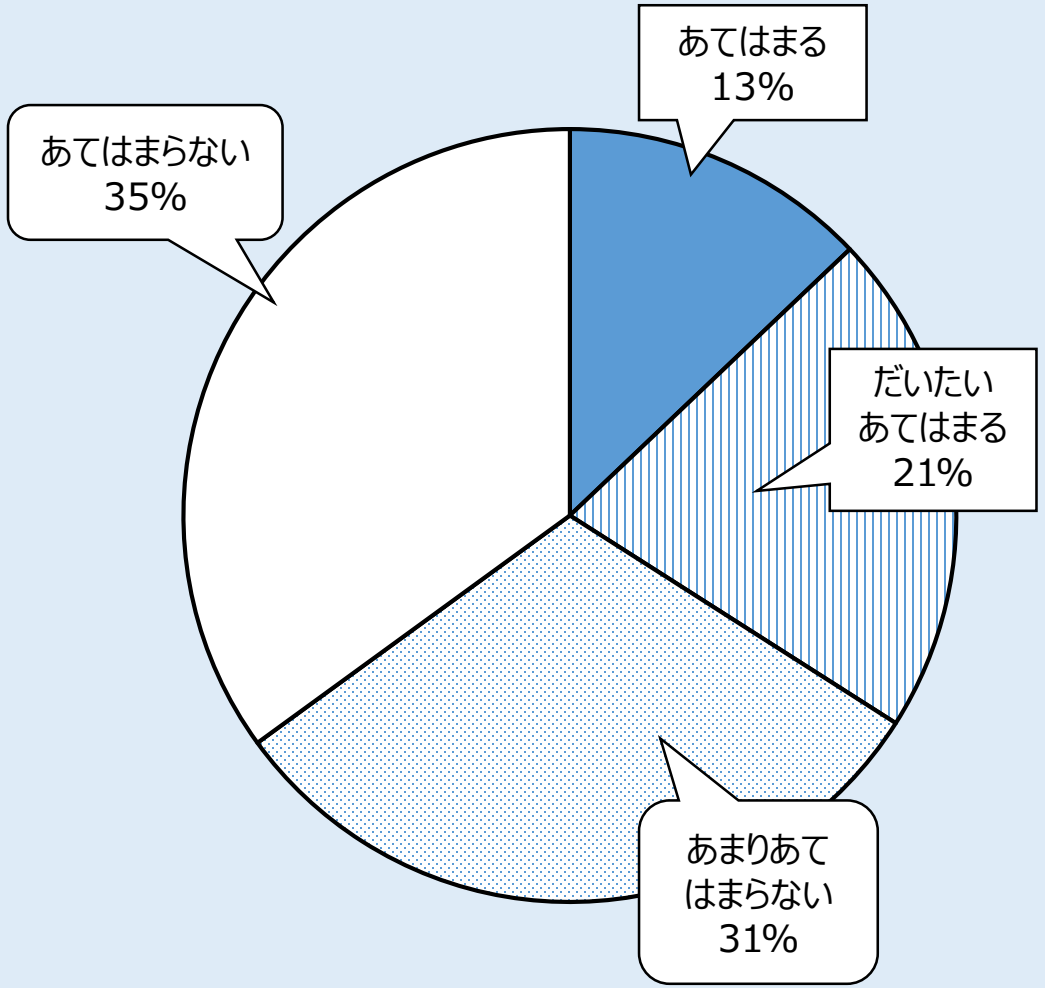


質問１２　常にマスクをしていないと不安である

小学生



中学生



結果のまとめ

①大項目の結果について

・昨年度までの2年間の実施により、小学生と中学生における1学期～3学期の傾向が見て取れました。今年度、新型コロナウイルス感染症対策の変更により子ども達のこころにも大きな変化があるのではと予測していましたが、気持ちの安定度、生活の安定度ともにこの2年の傾向と大きな差は見られませんでした。

・困ったときにSOSが出せるかどうかについても、小学生、中学生ともに昨年度からの傾向と同様であり、新型コロナウイルス感染症対策の変更による大きな変化は見られませんでした。

②小項目ごとの結果について

・中学生において、「勉強に集中できないことがある」と回答した生徒がR4.3学期から10%減少しており、昨年度同時期と比較しても8%減少していました。

・「常にマスクをしていないと不安である」について、R4.3学期から中学生では5%、小学生では15%不安であると回答した児童生徒が減少していました。

③実施後の取組

・アンケート調査結果と分析を前回との比較も含め市立小中学校教員へフィードバック

・学校で教員が、個々の子ども達のアンケート結果を踏まえ、声かけや日常の様子を見守る

・SOSを発信しにくい子どもたちとの信頼関係づくりのためにチーム学校で取り組むアクションプラン、個別対応における6つの視点での取組を継続

※この2年、困ったとき相談できると回答する児童生徒が徐々に増加していることから取組を継続